

平成 23 年 11 月 24 日(木)
国土交通省 関東地方整備局
江戸川河川事務所

記者発表資料

きれいな綾瀬川が戻ってきました！
～第 18 回綾瀬川清流ルネッサンスⅡ地域協議会にて「綾瀬川復活宣言」～

綾瀬川流域では、流域住民、自治体、下水道管理者、河川管理者が連携して、昭和 61 年以降、25 年の長い年月をかけて、綾瀬川の水質や水環境の改善の取り組みを積極的に推進してきました。

その結果、綾瀬川の水質および水環境は大幅に改善され、きれいな綾瀬川が戻ってきています。

平成 23 年 11 月 22 日、上尾市文化センターにおいて第 18 回綾瀬川清流ルネッサンスⅡ地域協議会を開催し、これまでの水質および水環境の改善の取り組み状況ならびに改善状況を確認しました(別紙 1)。

協議会では、四半世紀にわたる一連の活動をとりとまとめ、今後も取り組みを継続する「綾瀬川復活宣言」を採択しました(別紙 2)。

発表記者クラブ		
竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
埼玉県政記者クラブ	都庁記者クラブ	川口記者クラブ
さいたま市政記者クラブ	上尾記者クラブ	越谷記者クラブ
草加記者クラブ		

問い合わせ先			
江戸川河川事務所	副所長	もりた やすのり 森田 靖則	TEL:04-7125-7317
	調査課長	むとう けんじ 武藤 健治	TEL:04-7125-7317

綾瀬川清流ルネッサンスⅡ 地域協議会担当部署一覧

埼玉県	環境部水環境課	TEL 048-830-3088
	県土整備部水辺再生課	TEL 048-830-5114
	都市整備部都市計画課	TEL 048-830-5448
東京都	都市整備局都市基盤部調整課	TEL 03-5388-3296
	環境局自然環境部水環境課	TEL 03-5388-3569
	建設局河川部計画課	TEL 03-5320-5425
	下水道局計画調整部計画課	TEL 03-5320-6594
さいたま市	建設局土木部河川課	TEL 048-829-1585
川口市	建設部河川課	TEL 048-258-1210
上尾市	建設部河川課	TEL 048-775-9381
草加市	市民生活部環境課	TEL 048-922-1520
越谷市	環境経済部環境政策課	TEL 048-963-9186
桶川市	市民生活部環境課	TEL 048-786-3211
八潮市	くらし安全部環境リサイクル課	TEL 048-996-2111
蓮田市	環境経済部みどり環境課	TEL 048-765-1718
伊奈町	環境対策課	TEL 048-721-2111
足立区	環境部環境保全課	TEL 03-3880-5026
葛飾区	環境部環境課	TEL 03-5654-8237
国土交通省江戸川河川事務所	調査課	TEL 04-7125-7317

地域協議会委員

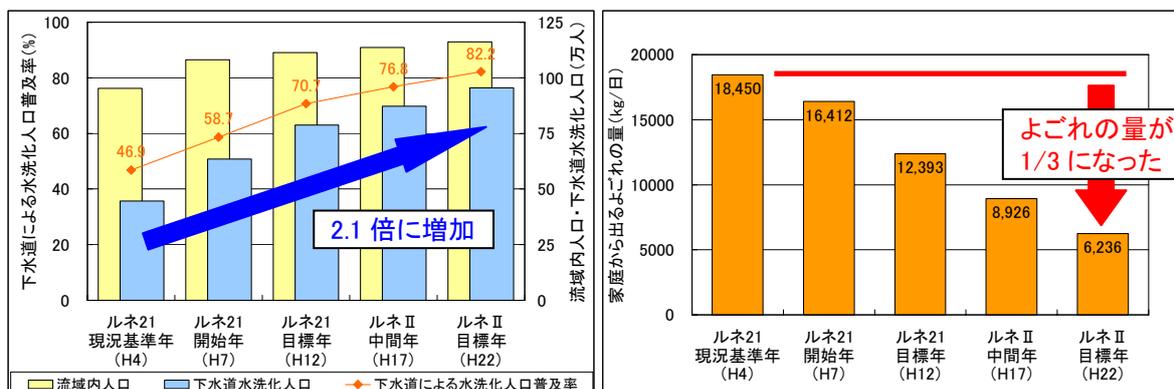
会 長	東京大学名誉教授(環境制御工学)	藤田 賢二
委 員	早稲田大学名誉教授(河川工学)	鮎川 登
〃	元 東京理科大学理工学部教授(水質環境工学)	柏谷 衛
〃	原生動物応用研究センター主宰	盛下 勇
〃	埼玉県 環境部長	
〃	埼玉県 県土整備部長	
〃	埼玉県 都市整備部長	
〃	東京都 都市整備局 都市基盤部長	
〃	東京都 環境局 自然環境部長	
〃	東京都 建設局 河川部長	
〃	東京都 下水道局 計画調整部長	
〃	さいたま市長	
〃	川口市長	
〃	上尾市長	
〃	草加市長	
〃	越谷市長	
〃	桶川市長	
〃	八潮市長	
〃	蓮田市長	
〃	伊奈町長	
〃	足立区長	
〃	葛飾区長	
〃	国土交通省関東地方整備局 河川部長	
〃	国土交通省関東地方整備局 建政部長	
〃	国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所長	
〃	国土交通省関東地方整備局 江戸川河川事務所長	

水質や水環境の改善の取り組み状況

【水質改善の主な取り組み】

○流域での取り組み(下水道整備・合併浄化槽の設置)

家庭から出るよごれた排水をそのまま流さないよう、下水道につないだり、合併浄化槽を設置しています。



※下水道による水洗化人口普及率(%) = 下水道水洗化人口(人) / 流域内人口(人) × 100

○河川での取り組み

浄化施設を設置して川の水を直接きれいにしたり、川底にたまったへドロをとりのぞいたり、荒川の水を綾瀬川や伝右川、毛長川に導水して水量の確保や水質の改善を図っています。



浚渫事業



取り除いたへドロ



荒川導水(綾瀬川への導水)



導水あり

荒川から導水

○住民のみなさんの取り組み

住民のみなさんが一緒になって川の清掃活動を行ったり、川の様子や水質を調べています。



クリーン大作戦



みんなで水質調査



水環境モニター

【生物生息環境や水辺空間の整備】

○生物の生息環境の保全

たくさんの生き物が生息できるよう、ビオトープを整備したり、多自然川づくりを行っています。



大曽根ビオトープ



綾瀬川の多自然川づくり

○水辺空間の整備

川に親しみをもってもらえるような川づくりを実施しています。



越谷市地区かわまちづくり(綾瀬川)



草加市新栄町での水辺再生 100 プラン(綾瀬川)

平成 22 年の水質および水環境の改善状況

○長年の水質改善の取り組みによって、きれいな綾瀬川がもどってきています。

【取り組み開始前(昭和48年)の綾瀬川】



写真提供:草加市

【現在(平成23年)の綾瀬川】



汚濁排水の流入はなくなり、綾瀬川には泡が消えきれいになっています。

【取り組み開始頃(昭和63年)の古綾瀬川】



【現在(平成23年)の古綾瀬川】



汚濁していた古綾瀬川の水質改善が進んだことにより、綾瀬川の水質改善にもつながっています。

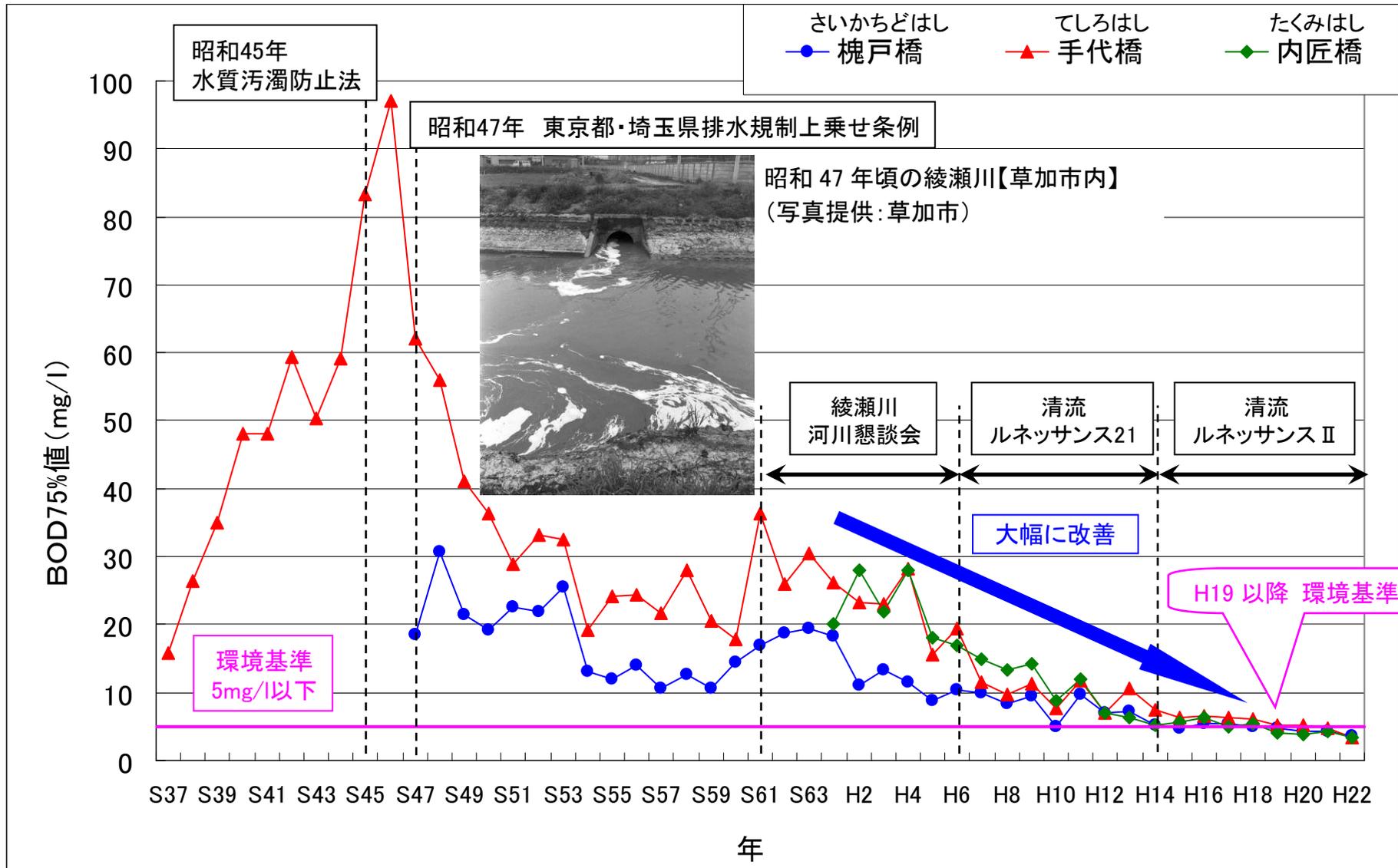
【取り組み開始頃(昭和63年)の伝右川】



【現在(平成23年)の伝右川】



伝右川の濁りやスカムはなくなり、透明感も高くなっています。



※一級河川の水質ランキング対象地点の水質調査結果

○綾瀬川の水質改善にともなって綾瀬川にすむ生きものの数も増加しています

目標であるオイカワやドジョウ、テナガエビが確認されただけでなく、良好な水質でしか生きることのできないアユも確認されています。

【綾瀬川で見られる魚類や甲殻類】



オイカワ

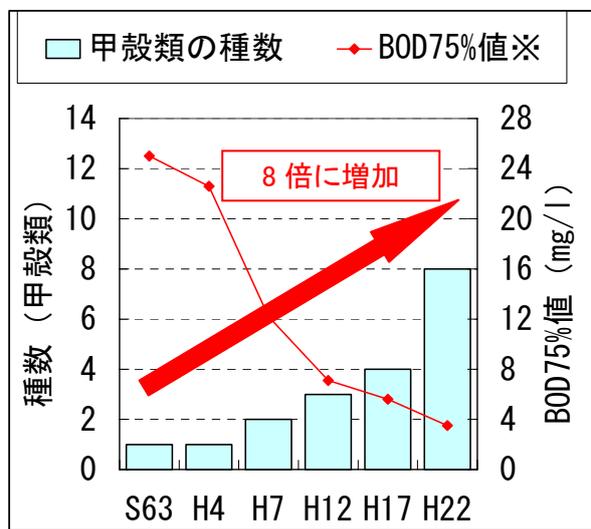
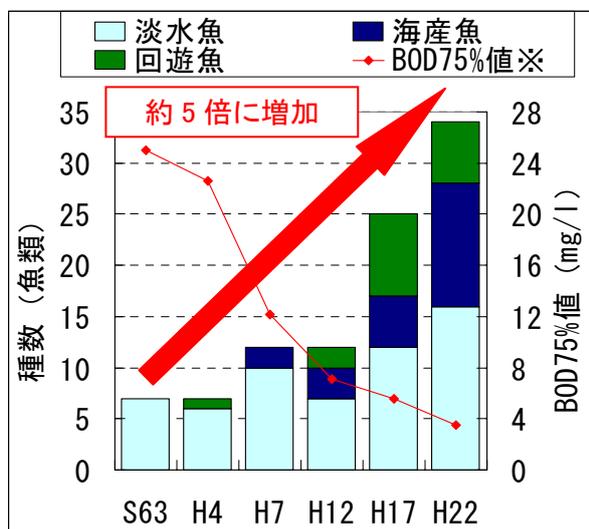


アユ



テナガエビ

【綾瀬川の魚類や甲殻類の種数の変化】



※一級河川の水質ランキング対象地点の水質調査結果

○きれいな綾瀬川がもどってきたことによって、綾瀬川を利用する人もふえています。



綾瀬川年間利用者数の変化



※河川水辺の国勢調査(河川空間利用実態調査)結果

綾瀬川復活宣言

綾瀬川は埼玉県桶川市内の農業用水の落ち水に源を發し、埼玉県南部市街地および東京都東部市街地の低地を貫流する河川である。流域内に山地をもたないことから、自然自流が乏しく、流入支川の水質汚濁に敏感に反応する。

高度成長期には、首都圏の拡大に伴って流域人口が急増し、また中・下流域に事業所が密集したことから、家庭排水や工場廃水が流入して水質汚濁が急激に進行した。最悪時には綾瀬川本川のBODが100mg/lという下水並みの水質となり、大きな社会問題となった。

この状況を危惧した流域自治体および当時の建設省は、昭和61年に「綾瀬川河川懇談会」を立ち上げ、次いで平成6年にはこの組織を発展させた「綾瀬川清流ルネッサンス21地域協議会」を設立、さらに翌平成7年10月に「綾瀬川清流ルネッサンス21行動計画」を策定した。さらにこれを引き継いで、「綾瀬川清流ルネッサンスⅡ地域協議会」を設立し、平成15年2月に「綾瀬川清流ルネッサンスⅡ行動計画」を策定した。

昭和61年から平成22年まで25年間、綾瀬川の水質環境の改善に向けて、流域住民、流域自治体、国の3者が一体となり努力を継続した結果、綾瀬川から発せられる悪臭や劣悪な水環境は改善し、「綾瀬川清流ルネッサンスⅡ行動計画」で掲げた高い目標をほぼ達成した。すなわち、本川BODは3mg/l台と著しい改善を見せ、生物が姿を消した綾瀬川にコイ、フナをはじめ、多くの魚が戻ってきた。平成17年にはアユの遡上も確認されている。

このような水環境の改善は、下水道の整備、合併浄化槽の設置、河川浄化施設の建設、浄化導水の導入など、施設の拡充に加えて、流域住民の浄化に対する際だった取り組みによって達成されたものである。今後も、これら施策や取り組みを推進し、施設の安定した管理運用を図ることが、綾瀬川の水環境の維持改善に必要である。

この度、目標年次を迎え、四半世紀にわたる一連の活動組織を解散するにあたり、以下のとおり宣言する。

1. 25年にわたる流域住民、流域自治体、国の3者一体となった取り組みにより、綾瀬川は危機的水質状況を遙かに脱し、良好な水環境が復活した。
2. 今後も引き続き綾瀬川の水環境を向上させ、清流を取り戻す活動を継続する。

平成23年11月22日

綾瀬川清流ルネッサンスⅡ地域協議会

埼玉県、東京都、さいたま市、川口市、上尾市、草加市、越谷市、桶川市、八潮市、蓮田市、伊奈町、足立区、葛飾区、国土交通省関東地方整備局